



被災地へ 緊急消防援助隊



北海道の緊急消防援助隊の第一次派遣隊として、石狩北部地区消防事務組合では当別消防署からの1名を含む全6名の隊員が東日本大震災被災地に向け、3月12日に出発、18日に帰庁しました。

現地では、札幌市消防局の隊員と合同で、宮城県石巻市を中心に、被災者の救出・救助活動を行いました。
(3月12日)

鋭い感性 少年の意見発表



町教育委員会主催による少年の意見発表会が開催され、14人の小中高校生が発表しました。

発表テーマは将来の夢、環境とゴミ、ペットを捨てる問題、学校でのいじめや自殺の問題などを、若い感性で不条理や矛盾などを深く考察したもので、それぞれの発表に会場から拍手がおくられていました。最優秀賞には小学生の部、弁華別小学校6年生、本多渚さん、中学生の部、当別中学校2年生、小出凌君、高校生の部では星槎国際高等学校3年生、荒谷雄弥君が選ばれました。

(2月19日)

地域の農業、商業を守れ！



J A北いしかり、当別町商工会ほか町内の農商工業者と関係団体が実行委員会を組織し、「TPP参加断固反対緊急総決起集会」が白樺コミセンで開かれました。現在、政府が進めているTPP（環太平洋経済連携協定）の参加に対しては、食糧の安全供給と地域経済の自立の観点から、政府の動きに反対を表明し、十分な論議を求める集会アピールを採択しました。会場には1100人が詰めかけ、経済団体の決意表明や各政党、議会からの激励のスピーチに真剣な表情で聞き入っていました。

(2月26日)



広 告

快適！道央圏自動車道路開通



町内蕨岱から江別市の美原を結ぶ「道央圏連絡道路」5.7kmが完成し、小樽市から北海道縦貫自動車道(高速道路)江別東インターチェンジまで約42kmがつながりました。

これにより蕨岱地区から江別東インターチェンジまでの時間がこれまでの約半分の13分となり、長沼方面や高速道路へのアクセスも便利になりました。江別市では関係自治体による開通式典が行われ、続いて美原ランプに場所を移し、テープカットを行い30台が走り初めをしました。

(3月5日)

貢献できる医療人へ



北海道医療大学の学位記、同大学歯学部附属歯科衛生士専門学校の卒業証書授与式がおごそかに行われ、490名が希望を胸に人生の新たな門出を迎えました。

新川詔夫学長等から、博士、修士、学士取得者に学位記を、専門学校卒業生に卒業証書を手渡し、学術文化や社会貢献者らを表彰。学長から、「生命の尊重と個人の尊厳を基本とし、地域社会や国際社会への貢献ができる医療人を目指してほしい」と激励されました。

(3月11日)



広告